旧華頂宮邸活用検討協議会ニュース　vol. 4

旧華頂宮邸活用検討協議会　平成 24 年　3月発行

平成 23 年 10～11 月に実験活用を行い、保全活用に向けた「提言」を行いました。

実験活用Ⅰ　「旧華頂宮邸の魅力を学ぶ」の報告

平成 23 年 10 月 22 日に吉田鋼市氏（横浜国立大学大学院教授）を招き、旧華頂宮邸の建物やその中での暮らしについての講座を実施しました。吉田氏による旧華頂宮邸の建築的特徴の解説やスタッフが講座に先立ち実施した華頂氏の御子孫へのヒアリング内容についても説明しました。また吉田氏とともに建物内部の見学を実施しました。今回は３階についても公開しました。

当日はあいにくの天気の中、39 名の受講者が集まりました。また、地元のボランティア団体「宅間ボランティアの会」の協力を受けました。

○講座の感想
- 内部をゆっくりじっくり見ることができてとても楽しかった。
- 古い建物の見るべきところを教えていただいた。
- 保存状態が比較的良い（この年代のものとしては）と思います。
- この建物の今後の良好な状況維持の保守の費用が気になります。

○アンケート結果（今後、旧華頂宮邸で行って欲しいイベント）
室内楽、映画上映、茶会、展覧会、写真撮影会、室内公開、ライトアップ、フリーマーケット等

○課題など
- 募集人数を上回る応募があり、参加人数に限りがある。定員は 40～50 名程度。
- 雨の日は、傘などの雨具の対応が必要。
- 床を傷つけないため、カーペットを敷いた。

実験活用Ⅱ　「宅間ヶ谷と旧華頂宮邸探検 ～第 11 回 親子景観セミナー～」の報告

平成 23 年 11 月 26 日に「宅間ヶ谷と旧華頂宮邸探検」と題し親子景観セミナーを実施しました。旧華頂宮邸の見学と鎌倉の特徴的な地形である谷戸（宅間ヶ谷）の散策を通して、これまで知らなかった鎌倉の魅力を知っていただくことを目的としました。

当日は天候に恵まれ、小学生児童と保護者 15 組計 31 名の参加を得ました。また、地元ボランティア団体「宅間ボランティアの会」と景観整備機構「一般社団法人　ひと・まち・鎌倉ネットワーク」の協力を受けました。

○セミナーの感想
- ボランティアの人の説明が詳しくて分かりやすかったです。
- 知らないことを教えてもらった。話が面白かった。
- また今日みたいな楽しいイベントがあるといいな、と思いました。
- 市の方とボランティアの方が協力し合って色々なものを守っていることが分かった。

○アンケート結果（今回の探検で魅力を感じた点）
- 巡礼古道の歴史。磨崖仏や、色々不思議なものがあった。
- 旧華頂宮邸の建物。すばらしい造りになっていた。
- 自治会の方々が自然環境保護に尽力されていることは、本当に感動した。

○課題など
- 募集人数を上回る応募があり、参加人数に限りがある。
- 山道を歩くので、安全への十分な配慮が必要。

第9回から第 11 回の会議の内容

第９回　旧華頂宮邸における活用ルールについて（平成２３年１１月４日）

旧華頂宮邸の実験活用Ⅰを踏まえ、今後の課題などについて検討を行いました。
旧華頂宮邸における活用ルールについて、検討を行いました。

第 10 回　旧華頂宮邸の保全活用に向けての提言（素案）について（平成２４年2月7日）

旧華頂宮邸の実験活用Ⅱを踏まえ、今後の課題などについて検討を行いました。
旧華頂宮邸の活用保全に向けた「提言」についての検討を行いました。

第 11 回　旧華頂宮邸の保全活用に向けての提言（案）について（平成２４年3月6日）

引き続き、旧華頂宮邸の活用保全に向けた「提言」についての検討を行いました。

旧華頂宮邸の保全活用に向けて「提言」（骨子）

活用の方向性について

☆旧華頂宮邸の特徴を活かす「独自の活用」を目指すこと。
旧華頂宮邸は、近代鎌倉の文化を象徴する存在である。また建物や敷地、周辺環境を含め、静かな谷戸との全体的な調和に価値が見いだされ、今に継承されている。この特徴を活かした「独自の活用」を目指すことが、鎌倉らしさにつながり、他の都市ではなく鎌倉にあることの魅力と考えました。

基本的事項について

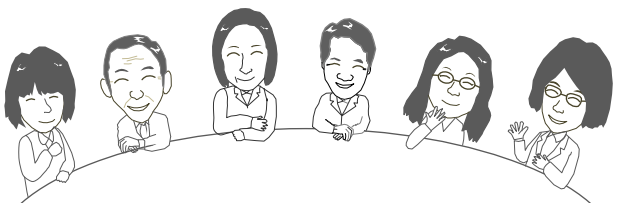
☆近代鎌倉の文化を維持、継承する活用を図ること。
☆周辺環境との調和を第一とすること。
☆市民の合意を前提として取り組むこと。
☆建物保全の観点を重視したルールづくりを進めること。
建物保全を第一に考え、食事を提供するものなどの活用は行わないこととしました。

活用類型の検討と実験活用の成果について

☆協議会において検討した活用類型について、それぞれの評価と課題などさらなる検証を行い、具体的な活用方針策定に活かすこと。
協議会で検討したもののうち、実験活用を実施できなかった活用類型についても、引き続き検証を行っていくことを提案しました。

今後の暫定活用とその運営体制について

☆実験活用の成果を活かすための暫定活用を継続して行うこと。
☆市民参加による「（仮称）旧華頂宮邸暫定活用運営会議」を設置すること。
「独自の活用」を目指すためにも、住民等の協力が必要です。そこで市民参加による「（仮称）旧華頂宮邸暫定活用運営会議」の設置を提言しました。



平成 24 年３月 29 日に市長に「提言書」を提出しました。
協議会としての活動はこれで終了しますが、これからも個人の立場で旧華頂宮邸にかかわっていきたいと思っています。
長い間ご支援ありがとうございました。

お知らせ　旧華頂宮邸の建物公開について

平成 24年度の春の建物公開は4月7日（土）、8日（日）の 10：00～16：00です。　ぜひ足を運んでみてください！！

旧華頂宮邸の装飾模様

今回ご紹介するのは、「ステンドグラス」です。
この建物の数カ所の窓には、ステンドグラスが用いられています。
ぜひ、注目して見て下さい

お問合せ：鎌倉市役所都市景観課　TEL:0467(61)3477　E-mail:keikan@city.kamakura.kanagawa.jp